

平成 29 年度長野市スポーツ推進審議会（第 1 回）会議録

日 時	平成 29 年 7 月 6 日（木） 午前 10 時 30 分～正午
会 場	長野市役所第一庁舎 7 階 第二委員会室
出席者	委員 11 名（欠席 1 名） 事務局 10 名
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 委員の委嘱について</p> <p>4 議 事</p> <p>（1）平成 28 年度事業実績及び平成 29 年度事業計画について</p> <p>（2）その他</p> <p>5 そ の 他</p> <p>6 閉 会</p>
議 事	<p><b>議事（1）：平成 28 年度事業実績及び平成 29 年度事業計画について</b>  （議事進行 堀江会長）  事務局より説明。以下質疑応答。</p> <p>A 委員：スポーツ推進市民アンケートはスポーツ課で内容を考えることができるだろうけれども、広報広聴課のまちづくりアンケートの内容にはスポーツ課も関わることができるのか。</p> <p>事務局：平成 27 年度に実施したスポーツ推進市民アンケートはスポーツ課で内容を構成している。まちづくりアンケートは、毎年広報広聴課が犬の散歩に関する意識調査、図書館に関する意識調査など、庁内各課にアンケート項目を募って構成している。指標として毎年把握していきたいものは毎年同じ質問をしている。</p> <p>A 委員：以前も議論になったと思うが、スポーツ課が懸念していたのは週一回スポーツを行う人の割合が上がったり下がったりと、成果が見えにくい指標であること。スポーツというとバレーボールなどの競技スポーツを想像しがちだが、軽いウォーキング程度なら毎日行っている、というような人もいる中で、そういった人は週 1 回スポーツ行っているか、と聞かれても手を上げにくいのではないか。</p> <p>事務局：広報広聴課の質問の中に、「ウォーキング等も含む」という文言を入れるなど、工夫している。</p>

B委員：資料2、2ページの1⑤、教育機関と連携していきたいという点はあるがたい。我々は理学療法士やトレーナーの卵を育てる学校である。看護学校も開設する予定であるが、ぜひスポーツの分野で活躍できる場を与えて欲しいと模索中である。専門学校時代はさほどそこに重きを置いていなかったが、4年制大学になる来年度からは是非重点的に行っていきたい。市とも積極的に関わっていきたいのでよろしくお願ひしたい

事務局：この点は非常に課題になっているところである。今の意見を契機としてどんな連携ができるか話しながら進めていきたい。

B委員：ドクターが関わろうと思ってもスポーツの現場は入りにくい。最近はや若い理学療法士、栄養士、看護師など若手の医療関係者がスポーツに興味を持っていて、是非関わりたいという人が大勢いる。医療関係の人材を積極的に活用してほしい。

事務局：医療関係者がスポーツと関わるとすればどんな分野になるか。

B委員：薬剤師が若い選手、母親等に対してドーピングの害や栄養剤の知識などを教えたり、栄養士が食事や栄養について教えたりできる。医療関係の国家資格は32種類もあって様々な人が関わりたいと思っけていても、コミュニケーションしてマネージする場がない。私は水泳連盟の医科学委員も担当しているが、水泳連盟は声を掛けたら40人くらいが集まっけてきている。

C委員：基本的にはボランティアだけれども、医科学委員として集まる仲間は多い。ただ集結している人はまだ少ないように感じる。気持ちのある方はとても多いが、マネジメントできる分野とそうでない分野、また競技連盟によっけても意識が違っけて思う。今後長野市などでそういうところが発展していけば、年齢を問わなず幅広く関わるきっかけになるのではないか。

会 長：スポーツだけでなく、それを取り巻く環境整備も重要である。スポーツのサポートをしていく中で青少年育成にもけがの防止にも繋がる。是非そういう建設的な意見を頂きながら、サポート的な部分の支援をしていければと思う。

D委員：全中スケートには市がいろいろサポートしていただっけて感謝している。全国的にスケート選手は長野の全国大会を目指して頑張ろうという意識が定着している。反面、私はバスケットボールに関わっているが、バスケットボールは全国レベルの大会を行うにはコートが4面は必要であるが、長野

県内に一施設で4面取れるところはほとんどない。松本の総合体育館はサブ体育館を入れて4面取れるがホワイトリングは取れない。大きな大会を誘致しようと思っても、開催可能な会場がないので躊躇してしまう。結果ほとんどが新潟県などに行ってしまう、中学の全国大会などもなかなか開催できないのが現状である。中学校の体育館ではバスケットコートが2面取れても正式な広さではないので大会は行えない。今後、体育館を整備する時には大会の開催を考慮して正式な広さのコートを2面取れる大きさにしてほしい。

事務局：中学校の体育館の件については教育委員会にお伝えする。ホワイトリングについては現在サブ体育館にも1面取れるが、体操で使うマグネシウムの粉が飛散して滑りやすくなってしまう。今年、体操ピットとの間にカーテンを敷く改修を行う予定であり、改修後はメイン、サブで4面取れるものと考えていただいてよい。先日の東アジアバスケットボール大会ではホワイトリングをメイン会場とし、大豆島体育館を練習会場に使った。いくつかの会場で対応することもできると思われる。バドミントンについても本市は公式戦を開催する設備が無かったが、審判台や得点板等を昨年整備し、今年からは全国大会も開けるようになった。徐々にそういったところも整備していきたい。

会 長：施設についても市でいろいろ考えているということである。大きな大会も開ける方向で検討していただければと思う。

E委員：県内で2回目の国体が内々定しているが、メインスタジアムとなり得る長野運動公園陸上競技場はサブトラックが300mしかないと聞いている。これでは正式な大会が長野市では開催できないそうであるが、せっかく国体が来るので今度はメイン会場を長野市に持ってきてほしいと思うが何とか考えてもらえないものか。

事務局：現状は承知している。6月議会でも同様の質問があり積極的な対応を要望されている。今後どこまで対応できるか検討していきたいと考えている。

F委員：今月順調に内々定が来ると、秋から準備委員会が設置される。そこから開催地を含めて検討が進められることとなっている。

以上、拍手で承認

**議事（２） その他**

長野オリンピック・パラリンピック 20 周年記念事業について、及び東アジアバスケットボール大会について事務局から説明（経過報告）。

以上